

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、26～28℃台を示し、平年に比べかなり高めでした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり0.7トンの水揚げで、前週の14%（前年を下回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり5kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり133kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり134kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり3.9トンの水揚げで、前週の52%（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり21kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.3トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり5kgの水揚げ。対馬東岸地区では、サワラなどが1日1統当たり201kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり178kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/20～9/25の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆周辺で操業。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）では4日延73隻、総計7,576箱、1航海最高267箱、平均103.8箱。スルメイカ（20～30入）4,097箱、ケンサキイカ（2～4立）3,479箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第5-20号 小トビ（トビウオ未成魚）飛翔目視調査結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>